



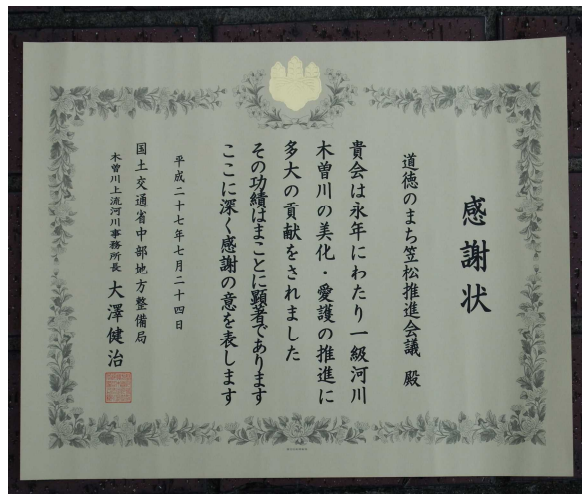
ふるさと笠松の「ちょっといい話」99号



道徳のまち笠松が「感謝状」をいただきました。

7月24日(金)に道徳のまち笠松推進会議が、岐阜市忠節町にある国土交通省中部地方整備局の木曽川上流河川事務所長様より感謝状(右の写真→)をいただきました。いただいた理由は4年間にわたり「トンボ天国」の美化活動を行ってきたことが認められたからです。

トンボ天国のトンボが住みやすい環境を作ろうと、竹や雑草を伐採し、タイヤや冷蔵庫などの粗大ゴミを回収する活動を夏空のもとで行ってきましたが、これらの活動が認められたことで苦勞が吹き飛んだと思います。これからも国と町と町民の皆様と協力し、さらにきれいな町づくりに取り組んでいきたいと決意を新たにしています。今後ともご協力ご支援をお願いいたします。(トンボ天国での活動は次頁参照)



所長室での表彰式

大澤 健治所長より推進会議の奥田 清保部会長に感謝状が渡されました。



道徳のまち笠松推進会議の表彰記念写真

前列右から大澤所長、推進会議きれいなまちづくり部会 奥田部会長 道徳のまち事務局 加藤



被表彰団体の4つの団体の方々

「トンボ池を守る会」(代表 可児 幸彦氏)も一緒に表彰されました。



笠松町以外の他の被表彰団体は一宮市奥町の自治会の皆さんです。堤防や河原で草取りや花火のあとのゴミ拾いなど、17年ほど取り組んでいるとのこと。

トンボ天国の環境美化活動は国と町と地域住民が合同で取り組んでいる素晴らしい活動です。



大勢の力で見違えるようにきれいになりました。



力を入れて、汗びっしょりで伐採しています。



30分もすると伐採した竹が山と積まれます。



小さな子も竹やゴミを拾ってお手伝い中



暑い中での受付のお仕事ご苦労様



9時になって伐採作業が終了しホッとする皆さん